

# 自分で気付く大切さ

作成日2025年6月24日(火)

対象児：5歳児 ふじ組

作成者：進藤 早苗

保育のねらい：植物の成長の変化を観察し、疑問に思ったことを話したり調べたりする。

脇芽をとるよ

振り返り



トマトの実がなり、赤くなるのを楽しみにしているのですが、毎年の悩みになっている実のお尻が黒くなってしまうこと。実がついて、増えていくことに喜び、ある程度大きくなると黒くなっていくことに気付きます。保育室のすぐ近くにプランターがあることで、登園した時に「黒いのあった」と気にかけている姿も多く見られ、「なんで黒いの?」「これは食べられないの?」と保育者や友達とのやり取りをしながら、図鑑を見て調べたり考えをだしあったりしています。肥料や石灰の量は『丁度いい』量が分からず、子ども達と試行錯誤を重ねています。初めは保育者が声をかけての世話でしたが、「今日は雨だから水やりしなくていいね」「暑い日だったから、葉っぱが元気ないよ」「葉っぱばかり大きくなっているよね」と気づいたことを出し合い、子ども達の感覚や気づきで世話をしている姿も多くなりました。トマトの実の数を数え、「〇個黒くなったけどまだある!」と前向きな気持ちでいっぱいの子も達です。赤く色づき収穫されるまでの期間、試行錯誤は続きますが、生命の不思議さや、友達と一緒にやり遂げる達成感や充実感、上手くいかない時のはがゆさも多く感じていくのかなと思いました。こういう経験が子ども達にとっては、さまざまな食べ物への興味や食べることへの大切さ、諦めないで最後までやってみようという気持ちが育っていくので、これからも子ども達の気づきや発見を大切にしながらかかわっていきたいです。(健康な心と体、豊かな感性と表現、協同性、思考力の芽生え、自然との関わり・生命尊重、数量・図形、標識や文字などへの関心・感覚、言葉による伝えあい、自立心)